

令和4年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和2年度策定)	1年間の 目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	○主体的・対話的で深い学びを実現する授業実践とそのための授業改善を行う。 ○児童・生徒一人ひとりのニーズにあわせた教育を行う。 ○カリキュラムマネジメントの視点を踏まえ、教育課程の編成に取り組む。	① 「主体的・対話的で深い学び」の本校の捉えに基づき、教育活動に反映させる。 ② 障害に応じたICT機器の活用により、個に応じた教育内容を充実させる。	① 具体的な視点の整理、指導案書式を用いた学習活動、授業改善を行う。 ② 視線入力装置、iPad等のICT機器を活用する。	① 「主体的・対話的で深い学び」の視点を示し、指導案書式に反映させ、授業改善に繋がったか。 ② ICT機器を児童・生徒の理解促進のために活用できたか。					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	○きめ細やかな児童・生徒指導・支援の充実を図る。 ○教育活動全体で人権の視점에立った学校づくりに取り組む。	① 障害に応じた通学支援を充実させる。 ② 障害特性に応じた専門性の高い指導を行い、人権を尊重した指導や支援を行う。	① 医療的ケアを必要とする児童・生徒のスクールバス等の通学支援を行う。 ② 専門性を高めるための研修を設定する。さん付け呼称に取り組む。	① 障害に応じた通学支援が行えたか。 ② 障害理解のための研修会で専門性の向上がみられたか。さん付け呼称を推進できたか。					
3	進路指導・支援	○本人のニーズや適性に応じた、自己選択・自己決定のための継続した指導・支援に取り組む。 ○児童・生徒の自立と社会参加に向けた主体的な取組を支援する。	① コロナ禍における、進路選択のための情報発信を充実させる。 ② 児童・生徒一人ひとりの自立・社会参加に向けた学習を充実させる。	① 事業所説明会の実施方法、進路冊子の情報掲載方法を工夫する。 ② 人とかかわる活動、人に貢献する活動を実施する。高等部では成人に関する学習を取り入れる。	① 事業所説明会等の情報発信の仕方に、コロナ禍を踏まえた工夫を取り入れたか。 ② 発達段階や障害に応じた自立・社会参加の活動に取り組めたか。					
4	地域等との協働	○学校と地域の双方で連携・協働するための組織的・継続的な仕組みを構築する。 ○地域における特別支援教育のセンター的機能としての取組を推進し、共生社会の実現に向け取り組む。	① 地域と連携した防災システムを構築する。地域連携業務の整理を行う。 ② 地域のニーズを把握して、ニーズに基づいた地域支援を行う。	① 地域や企業と連携した防災イベント等に取り組む。地域連携業務は、学部と協働した取り組みを行う。 ② 学校コンサルテーションの見直しを行う。	① 地域や企業と連携し、防災システムを構築できたか。地域連携業務の整理精選ができたか。 ② 学校コンサルテーションの見直しを進め、有意義な学校支援を行えたか。					
5	学校管理 学校運営	○地域と一体となった安全で安心な学校づくりに取り組む。 ○教員が子どもたちと向き合う時間を確保するために、教員の働き方改革を推進する。	① 安全に対するルールの見直しを進める。 ② わかりやすく、使いやすい教育環境・職場環境を構築する。	① 感染症対応や緊急時の対応マニュアルを各チームで見直す。 ② 校内施設の整理・構造化、ICT化、グループ業務の精選を行う。	① 状況に応じた基準やマニュアルの整理が行えたか。 ② 校内の整理や構造化、ICT化を進めることができたか。					